

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
令和元年度 第4回情報共有会合議事概要

1. 日時：令和2年2月4日(火) 10:00～11:30

2. 場所：札幌第1合同庁舎10階第1・2会議室

3. 出席者 27名

北海道開発局(6名)、第1管区海上保安本部、北海道(2名)、北海道立総合研究機構、札幌市(2名)、岩見沢市、北海道大学、(公社)日本測量協会北海道支部、(一社)北海道産学官研究フォーラム、(一社)日本写真測量学会北海道支部、(一社)建設コンサルタンツ協会北海道支部、NPO法人Digital北海道研究会(2名)、NPO法人北海道G空間情報技術研究会(2名)、国土地理院(5名)

4. 議事

- (1) 地図の利用手続の改正について
- (2) 第11回地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会報告
- (3) PRISM コンソーシアムの活動とCIM・GISの連携に向けて
- (4) 話題提供

5. 配付資料

(1) 事務局

・議事次第

(2) 発表資料

・地図の利用手続の改正について

・国土地理院の地図の利用手続が変りました(国土地理院地理空間情報部)

・第11回地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会 議事概要

(国土地理院北海道地方測量部)

・PRISM コンソーシアムの活動とCIM・GISの連携に向けて

((一社)北海道産学官研究フォーラム産学官CIM・GIS研究会)

(3) 話題提供

・防災・減災シンポジウム in 釧路 (北海道開発局事業振興部)

・北海道のレーザー測量範囲GISデータの公開について(北海道総合政策部)

・第38回学術講演会 講演発表募集((一社)日本写真測量学会北海道支部)

・GIS・CIMハンズオン定期講習会の案内

・GIS Day in はこだて2020

(NPO法人Digital北海道研究会)

6. 議事概要

今回の会合は、次の課題の発表を行った。

- (1) 国土地理院地理空間情報部から、令和元年12月10日に改正された地図の利用手続について、改正に至った経緯、改正の概要及び地図の利用手続のフローを使った申請の有無の判断手順など、改正前後の違いも織り交ぜながら紹介された。

- (2) 国土地理院北海道地方測量部から、第 11 回地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会の報告を行なった。本会合では、懇談会の概要として、3 名の方からテーマに沿った話題提供をしていただき、それを踏まえて、それぞれの現状や抱えている課題について情報提供、意見交換が行われたことを報告した。
- (3) (一社) 北海道産学官研究フォーラム産学官 CIM・GIS 研究会から、PRISM (官民研究開発投資拡大プログラム) が創設された背景及び特徴、北海道内で採用された堀口組コンソーシアムの状況について報告された。
また、CIM・BIM と GIS の連携に関する現状と方向性について報告された。

7. 話題提供・その他

- 北海道開発局事業振興部から、3 月 12 日に釧路市で行なわれる「防災・減災シンポジウム in 釧路」について紹介された。
- 北海道総合政策部から、北海道内のレーザー測量範囲を GIS データ化し、「北海道ポータルサイト」において公開した紹介リーフレットを配布された。
- 日本写真測量学会北海道支部から、3 月 13 日に第 38 回学術講演会を開催予定しており、講演発表者を募集していると紹介された。
- NPO 法人 Digital 北海道研究会から、3 月以降に開催する GIS・CIM ハンズオン定期講習会の案内及び 2 月 18 日、19 日に開催される「GIS DAY in はこだて 2020」のセミナー、ハンズオン講習会を紹介された。